

平成26年度 事業報告

自 平成26年4月1日

至 平成27年3月31日

助成事業（公益目的事業1）

1. 芸術文化活動への助成

(1)助成事業として、下記のとおり助成金を支出しました。

平成26年度 助成件数・助成額

分野	項目	件数	助成額
美術	美術展覧会への助成	27件	1,900万円
音楽	音楽公演への助成	33件	1,800万円
	音楽研究への助成	4件	160万円
合計		64件	3,860万円

(2)平成27年2月9日、平成26年度 音楽分野の助成研究者による研究成果発表会を、花王(株)品川研修所に於いて初めて開催しました。

2. 科学技術研究への助成

(1)助成事業として、下記のとおり助成金を支出しました。

平成26年度 助成件数・助成額

分野	件数	助成額
表面の科学「化学・物理学」分野	5件	500万円
表面の科学「医学・生物学」分野	5件	500万円
合計	10件	1,000万円

顕彰事業（公益目的事業2）

1. 美術研究の顕彰（美術に関する研究奨励賞）

(1)平成25年度(第8回)の美術に関する研究奨励賞贈呈式を、花王(株)茅場町事業場内、会議室において開催しました。受賞者2名には、それぞれ正賞(賞状)並びに副賞(金50万円)と記念品を授与しました。

<第8回受賞者>

(所属は選考当時のものを記載)

石川 義宗 氏	東洋美術学校 デザイン研究室 専任講師
生活文化の形成と近代デザイン史 家具を中心として	
並木 秀俊 氏	東京芸術大学大学院美術研究科 文化財保存学専攻 助教/愛知県立芸術大学 非常勤講師
「ゴールドサンドウィッチガラス碗における截金技法研究」～大英博物館蔵「金箔入りガラス碗」を中心として～	

(2)平成 26 年度(第 9 回)の顕彰事業について、平成 27 年 1 月 26 日開催の選考委員会で選考の後、2 月 25 日開催の理事会で下記の通り決定しました。

<第9回受賞者>

(所属は選考当時のものを記載)

山本 友紀 氏	京都嵯峨芸術大学芸術学部、帝塚山学院大学人間科学部、神戸芸術工科大学教育研究センター、大阪成蹊大学芸術学部、関西外国語大学外国語学部、宝塚大学造形芸術学部 非常勤講師
フランスにおけるモダニズム芸術の形成と展開に関する研究 —フェルナン・レジェの制作活動とキュビズムの変容—	
打林 俊 氏	日本大学 芸術学部 非常勤講師 (欧米写真史担当)
日本における写真の芸術性認識の成立過程に関する研究	

2. 科学技術研究の顕彰（花王研究奨励賞）

(1)平成 26 年 6 月 5 日、平成 25 年度(第 16 回)の花王研究奨励賞贈呈式を、前年度の助成研究成果発表会・交流会と併せて、花王(株)すみだ事業場内セミナーハウスに於いて開催しました。受賞者 2 名にはそれぞれ正賞(賞状)並びに副賞(金 100 万円)と記念品を授与しました。

<第16回受賞者>

化学・物理学分野	植村 卓史 氏	京都大学大学院 工学研究科 准教授
金属錯体ナノ細孔内での高分子化学		
医学・生物学分野	久保田 義顕 氏	慶應義塾大学 医学部 准教授
腫瘍血管内皮細胞特異的な分子メカニズムの解明		

(2)平成 26 年度(第 17 回)の顕彰事業について、平成 27 年 1 月 16 日及び 1 月 22 日開催の選考委員会で選考の後、2 月 25 日開催の理事会で下記の通り決定しました。

<第 17 回受賞者>

化学・物理学分野	大場 友則 氏	千葉大学大学院 理学研究科 助教
疎水性ナノ空間中水分子の特異水素結合形成機構の解明		
医学・生物学分野	西村 智 氏	自治医科大学 分子病態研究部 教授
血管内皮細胞における動的な生体維持と破綻メカニズム：二光子顕微鏡を用いた可視化解析		

その他の関連事業（公益目的事業 3）

芸術文化と科学技術を融合する総合研究への支援

(1)下記の通りシンポジウムを開催した。<3 回シリーズの 3 回目>



- 日 時 : 平成 26 年 12 月 8 日 (月) 午後 6 時
- 会 場 : 日本橋三井ホール
(東京都中央区日本橋室町 2 - 2 1 -)
- 来場者数 : 344 名
- テーマ :
統一テーマ『美しい生き方を考える』3 回シリーズ
平成 26 年度: 「心豊かに生きる」

○ 登壇者 :

コーディネータ (司会) : 酒井 ゆきえ氏 (フリーアナウンサー)

基調講演 : 鷲田 清一氏 (哲学者、前大阪大学総長、大谷大学教授)
「心豊かに生きるための心構え」

パネルトーク 「美しい生き方を考える」

- : 鷲田 清一氏
- : 小池 一子氏 (クリエイティブ・ディレクター、武蔵野美術大学名誉教授)
- : 原島 博氏 (東京大学名誉教授)

(2)シンポジウム終了後、第3回「心豊かに生きる」の講演録を作成し、関係各所に配布、および当財団WEBに掲載しました。